



支部だより

第 76 号

編集・発行

〒464-0039

名古屋市千種区日和町2-18

名古屋地方気象台内

日本気象学会中部支部

電話 052-751-5124

2013.11.20

目次

- ・ 2013 年度（平成 25 年度）中部支部総会の報告 1
- ・ 第 18 回公開気象講座の報告 2
- ・ 平成 25 年度中部支部研究会のお知らせとプログラム 2

◆ 2013 年度（平成 25 年度）中部支部総会の報告

2013 年度日本気象学会中部支部総会が 7 月 4 日（金）、16 時 00 分から名古屋地方気象台会議室において開催されました。開会の辞、神田 豊支部長の挨拶のあと、名古屋地方気象台の渡辺会員を議長に選出し、議事進行をお願いしました。事務局から出席者数と委任状の提出数の報告があり、総会成立条件を満たしていることが確認されました。

その後、支部だより第 75 号に掲載された議案(1)～(6)について審議されました。

(1) 2012 年度（平成 24 年度）事業報告

事務局から、支部だより（第 73 号、第 74 号）発行、公開気象講座、支部研究会、サイエンスカフェの開催について報告があり承認されました。

(2) 2012 年度（平成 24 年度）中部支部会計報告

事務局から 2012 年度の会計報告があり、承認されました。

(3) 2012 年度（平成 24 年度）中部支部会計監査報告

多々良会計監査から 2012 年度の支部会計が適正に処理されている旨の報告があり、承認されました。

(4) 2013 年度（平成 25 年度）中部支部事業計画案

事務局から下記の事業計画案が提案され、賛成多数により承認されました。

- ・ 支部だより（第 75 号、第 76 号）の発行
- ・ 第 18 回公開気象講座「竜巻」の開催（8 月 23 日、名古屋大学 ES ホール）
- ・ 平成 25 年度中部支部研究会の開催（12 月 7 日～8 日、信州大学教育学部）
- ・ サイエンスカフェの開催（名古屋 8 月 3 日と 1 月の計 2 回、名古屋以外の中部支部内で計 2 回を予定）

(5) 2013 年度（平成 25 年度）中部支部予算案

事務局から今年度の事業計画に基づいた予算案の提案があり、賛成多数により承認されました。このあと、事務局から、中部支部の資産目録の報告があり、ノートパソコン 2 台、プリンター 1 台の報告があり、承認されました。

(6) 支部規約の改正

理事会成立条件を明記する改正案が賛成多数で可決されました。

◆ 第 18 回公開気象講座の報告

日本気象学会中部支部主催の公開気象講座は、気象学に関する専門的かつ最新の知識を一般の方々に分かりやすく解説することを目的に開催されるもので、今年で 18 回目を数えます。今回は、「竜巻」というテーマで 8 月 23 日（金）に名古屋大学 ES 総合館 ES ホールにおいて開催されました。神田 豊支部長の挨拶の後、東京大学名誉教授の木村龍治氏により「竜巻のメカニズム」というタイトルで、ドライアイスと自作の装置による実験を交えながら、竜巻のメカニズムを分かりやすく説明していただきました。次いで、防衛大学校教授の小林文明氏により「竜巻の観測」というタイトルで、竜巻の被害状況の現地調査や、最新のレーダを用いた観測結果などを分かりやすく説明していただきました。休憩をはさんで最後に、気象庁予報部予報官の田中恵信氏に「気象庁の突風予測技術の現状と課題」というタイトルで、竜巻注意情報や竜巻発生確度ナウキャストなどの予測について分かりやすく説明していただきました。参加者は 68 名を数え、各講演には多くの質問があり竜巻に対する関心の高さを感じました。

◆ 平成 25 年度日本気象学会中部支部研究会のお知らせとプログラム

今年度の中部支部研究会は、長野県の気象研究交流会と合同で 12 月 7 日（土）～8 日（日）の 2 日間にわたり、長野市の信州大学教育学部において開催する予定です。以下のプログラムに示す 29 件の講演が予定されています。会員の皆様には、同封した講演要旨集に詳細が記載されていますが、この支部だよりも研究会のプログラムを以下に記載しました。ご興味のある方は是非、会場にお越しください。

◇ 平成 25 年度支部研究会概要

日時： 2013 年 12 月 7 日（土曜日）13:00 ～ 18:45（終了後、別会場で懇親会）

12 月 8 日（日曜日）09:00 ～ 15:00（昼食休憩をはさむ）

場所：信州大学教育学部 北校舎 3 階 N301 教室（長野市西長野 6 の口）

※長野駅からの案内図をプログラムの最後に掲示しましたのでご覧ください。

※1 日目と 2 日目の**昼食のお弁当(500 円)**を注文される方は、**11 月 28 日(木)までに**幹事 (kanji@msj-chubu.jp)（電話：052-789-3483）にお知らせください。

※発表者以外の方で、1 日目発表終了後に開催される**懇親会に参加を希望される方は、11 月 28 日(木)までに**幹事にお知らせ下さい。（懇親会費用は一般 4000 円、学生 2500 円です。）

◇ 支部研究会のプログラム

12 月 7 日（土）

13:00～13:10

開会の辞

支部長挨拶

神田 豊（中部支部長/名古屋地方気象台）

13:10～13:15

事務局からの連絡

13:15～13:35

*中込和徳、細井要一（長野県環境保全研究所）

「長野盆地における大気中窒素酸化物濃度上昇事例の気象要因と汚染特性」

13:35～13:55

*北島晴美¹、太田節子²（1：信州大学山岳科学総合研究所、2：信州医療福祉専門学校）

「長野県における夏季の気温と死亡数の関係」

13:55～14:15

小野宏貴（東京航空地方気象台松本空港分室）

「松本空港周辺で発生する風じん(BLDU)に関する調査」

14:15～14:35

田中隆一（日本気象学会会員）

「地上風について」

14:35～14:55

*大島明香、久保田雅久（東海大学海洋学部）

「駿河湾の海陸風」

14:55～15:10 休憩

15:10～15:30

*辻航平¹、中村健治²、古澤（秋元）文江³、西川将典⁴（1：名古屋大学大学院、2：獨協大学、3：名古屋大学地球水循環研究センター、4：北海道大学）

「Ka 帯レーダによる降雨測定の精度評価について」

15:30～15:50

*草刈智一¹、寒川典昭²、中屋眞司²、山崎基弘³（1：元信州大学大学院、2：信州大学工学部、3：前信州大学工学部）

「日本列島における年最大日降水量の非定常頻度分析」

15:50～16:10

*谷口佳於里¹、立花義裕^{1,2}、山崎孝治^{1,3}、小寺邦彦^{1,4}、緒方香都¹、西川はつみ¹、古田仁康¹（1：三重大学、2：JAMSTEC、3：北海道大学、4：名古屋大学）

「客観的手法による北半球全域の前線分布」

16:10～16:30

*渡辺真二、川端 昇（名古屋地方気象台）

「中部地方における線状降水帯の発生について-2013年の発生状況と過去調査との比較-」

16:30～16:50

*片桐寛之¹、安永数明²（1：富山大学理学部、2：富山大学大学院）

「レーダーアメダス解析雨量を用いた日本海沿岸地域の降雪の時空間変動」

16:50～17:10

大塚仁大（気象庁浅間山火山防災連絡事務所）

「浅間山周辺の雪に関する調査」

17:10～17:25 休憩

17:25～17:45

*鈴木耕二郎¹、立花義裕^{1,2}、山崎孝治^{1,3}、小寺邦彦^{1,4}、中村 哲^{1,5} (1: 三重大学、
2: JAMSTEC、3: 北海道大学、4: 名古屋大学、5: 極地研究所)

「ブロッキング発生頻度の長期変動」

17:45～18:05

吉川契子 (静岡県立静岡中央高校)

「防災気象情報を学校教育に取り入れる上での課題」

18:05～18:25

*津久井あきび¹、安永数明² (1: 富山大学理学部、2: 富山大学大学院)

「インフルエンザ流行に気象要素が与える影響」

18:25～18:45

北野旦浩 (日本気象予報士会長野支部)

「なぜ寒候期になると人恋しくなるのか-気象が人の心に与える影響-」

18:45 事務局からの連絡

19:00～ **懇親会**

12月8日 (日)

09:00～09:20

*芦田康晴、榊原保志 (信州大学教育学部)

「長野駅周辺におけるヒートアイランド形成に関する研究」

09:20～09:40

*森 康洋、榊原保志 (信州大学教育学部)

「長野県飯田市におけるヒートアイランドと逆転強度の関係」

09:40～10:00

*花井嘉夫¹、榊原保志² (1: 信州大学大学院、2: 信州大学教育学部)

「移動観測による広域気圧分布測定を試み」

10:00～10:20

*田中悦子、滝澤初雄、森川隆夫 (長野地方気象台)

「アメダス(野辺山)の周辺の樹木伐採による風への影響について」

10:20～10:40

*松本直也¹、立花義裕^{1,2}、小松謙介¹、原 政之² (1: 三重大学生物資源学部、2:
JAMSTEC)

「三重県北部における降雪と風の関係について」

10:40～10:50 **休憩**

10:50～11:10

*尾町光太、榊原保志 (信州大学教育学部)

「冬季日本周辺海上に発生する筋状雲のモデル実験の教材化」

11:10～11:30

*八木 雅文¹、轡田邦夫¹、亀田傑²、亀村光³ (1: 東海大学海洋学部、2: 東海大学
大学院、3: クリマテック (株))

「北半球中緯度海域における海上気象要素の長期変動」

11:30～11:50

*亀田 傑、轡田邦夫（東海大学海洋学部）

「人工衛星全球海上風速風向データセットを用いた北太平洋における 10 年規模変動の解析」

11:50～12:10

*田嶋莉奈¹、轡田邦夫²（1：東海大学大学院、2：東海大学海洋学部）

「風成駆動流理論に基づく北太平洋亜熱帯循環系の海洋構造に関する研究」

12:10～12:30

*川名華織¹、中山智喜²、久芳奈遠美³、持田陸宏¹（1：名古屋大学大学院、2：名古屋大学太陽地球環境研究所、3：東京大学大気海洋研究所・JAMSTEC）

「名古屋で観測された都市エアロゾル：化学組成、吸湿性、CCN 活性の解析および雲粒生成の考察」

12:30～13:30 **昼食**

13:30～13:50

*中田晃志¹、立花義裕^{1,2}、小松謙介¹、原政之²、山崎孝治^{1,3}、小寺邦彦^{1,4}、吉岡真由美⁵（1：三重大学、2：JAMSTEC、3：北海道大学、4：名古屋大学、5：東北大学）

「紀伊半島に未曾有の大雨をもたらした台風 12 号はなぜ日本付近で停滞したのか」

13:50～14:10

平松章男（日本気象予報士会北陸支部）

「確率予報の情報価値について」

14:10～14:30

*田中博春、陸 斉、浜田 崇、畑中健一郎（長野県環境保全研究所）

「長野県における温暖化適応策導入の取り組み(第 3 報)」

14:30～14:50

*春日清雄¹、榊原保志²（1：信州大学大学院、2：信州大学教育学部）

「気象単元における海陸風モデルに関する教材開発」

14:50～15:00 **講評** 立花義裕(中部支部理事/三重大学)

複数の著者による発表では、著者名に*印が付けられた方が発表される予定です。今回の支部研究会では、講演 1 件あたりの割当て時間は 20 分を予定しております。各講演者の方は講演時間 15 分、質疑時間 5 分を目安とした講演をお願いいたします。

支部研究会についてのお問合せ先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院環境学研究科

永尾一平

i.nagao@nagoya-u.jp

電話：052-789-3483

会場への案内（信州大学 長野キャンパス）

JR 長野駅善光寺口を出て、長野市循環バス『ぐるりん号』に乗り（所要時間約 10 分、15 分毎に発車）、バス停「信大教育学部前」で下車して下さい。道路を挟んだ正面に長野キャンパスがあります。（徒歩 1 分）。運賃は 150 円です。あるいは、以下の URL も参考にして下さい：<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/maps/map01.html#address>

JR 長野駅～信州大学長野キャンパスの地図



支部研究会会場の位置（図の青丸で囲んだ 3 階 N301）

